

藤田精治 スポーツ施設の改善，整備についてお伺いいたします。

当市営のスポーツ施設は，量的には市民のスポーツ活動の実践には一応の整備はされていますが，水戸市として「スポーツ活動の成果が発揮できるような大会，行事等を開催するとともに，市民が優れたスポーツに接することができるように，国際的，全国的大会やプロ野球公式戦等の招致に努めます。」と述べられておりますが，現在の市営のスポーツ施設，特に屋内体育館等の施設は，その設備内容が現代的，機能的なものではなく，このままでは，上記の国際的，全国的大会の会場として使用されることも歓迎されていません。

もとより，これらの施設は，茨城国体を目的に建設されたもので，老朽化も進み，部分的な改修だけでは大幅なレベルアップにはつながらず，年間維持費などは使用頻度の多寡にかかわらず支出されるわけであり，大会などの開催による収入の確保を図るために必要な施設としての条件をかなえられるよう，十分な検討を加え，建て替えの時期までの存続対策を早急に樹立しておくべきではないでしょうか。

そこで，青柳運動公園市民プールについてお伺いいたします。

昭和45年に市民プールを開設，昭和49年国体開催，昭和六十一年，二年改修工事，台風10号による災害復旧工事，そして平成13年の現在に至っておりますこのプールは，競泳プール，水球プール，飛び込みプール，練習プール，徒渉池プール，子供プール，そして合宿所，管理棟，機会棟等，敷地面積約800坪を有し，当時としては全国に注目をあびた施設でありました。以来30有余年たった現在の状況はどうでしょうか。全国に注目を浴びた施設が全国的にも何本かの指に入るくらい老朽化してしまいました。

というのも，現代のプール施設はほとんどが屋内化しており，夏の間だけの施設は敬遠されてしまいました。年間を通しての屋内公認，50メートル，長水路プール，飛び込みプールが一般化し，市内22カ所，39スポーツ施設においても，同様の諸問題があるのではないかと考えられます。

将来，国際的，全国的大会を水戸市において開催できる多角的な施設ができることは市民にとっては願ってもないことであり，全国レベル，世界的レベルの技術を習得するのにもこの上ない機会であり，大会開催期間中における参加者数，大会関係者数，観客動員数等を考えたとき，宿泊施設を初めとした各商店会等の活性化や中心街の空洞化の解消にもつながるところであり，水戸市の評価も向上するのは間違いありません。

青柳公園市民プールの屋内化に向けての改善，整備を早急に着手すべきと考えますが，所見をお伺いいたします。

教育長 吉田仁 青柳公園市民プールの改善，整備についてお答えいたします。

青柳公園市民プールは，昭和45年開設以来，市民の水泳場として長い間親しまれておりますが，一方で築後30年以上経過していることから，適切な老朽化対策が必要であると認識しております。

したがって，当面は，市民利用に支障を来さないよう，現状施設の維持管理の整備に努めてまいりますが，議員御提案の市民プールの屋内化については，今後策定予定の地域におけるスポーツ環境の整備充実を目指した水戸市スポーツ振興計画の中で調査，研究を進めてまいります。